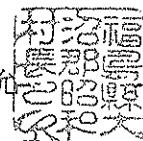




19昭建第48号  
平成19年4月25日

国土交通省道路局長 殿

福島県大沼郡昭和村長 馬場孝允



中期的な計画の策定にあたっての意見書の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号にて依頼のこのことについて、下記のとおり提出いたします。

記

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理について

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

全国的に過疎高齢化の進行が進む地方の現代社会において、地域を結ぶ基幹道路の果たす役割は非常に大きくなり、最近いわれております国民所得・賃金などの地域間格差解消にも影響を及ぼすものと思われま

す。また、国土保全の観点からも過疎過密に伴う人口の偏りにより中山間地の農地や山林が年々荒廃し、地球温暖化等の環境問題の叫ばれている中で、集落の維持・再生を図り、これらの解決にも地方における道路整備が大きな比重を占めていると考えております。

さらには、厳しい財政難の中では、費用対効果の関係も議論されておりますが人口密集地区の都市基盤の整備とともに、過疎地域における道路整備も肝要であり、国土の均衡発展や社会資本整備を、国民が等しく享受することにより、地方にも明るい光が射し、未来への展望が開けるものと確信します。

このような厳しい現状下、本村におきましても、基幹産業である農林業の振興をはじめ、商工・観光の発展及び医療・福祉・教育の充実等あらゆる分野において、道路整備は村勢進展に欠かすことのできない最重要課題であると認識しております。

道路特定財源の一般財源化問題は、これに一貫して強く反対してきた地方の声に配慮した形で決着し、昨年12月に閣議決定の「道路特定財源の見直しに関する具体策」として示されたところであります。

この具体策の中で、今後の道路整備の姿を示した中期的な計画を作成することとなったことを踏まえ、本村においての村づくりの基本であります「昭和村振興計画」をもとに、下記の基幹道路の整備についての要望を付して意見といたします。

両路線ともに、当村のみならず、会津地方全体にとりましても「真に必要な道路」として利用されております。

以上、地方の声としてお届けいたしますので、今般の中期計画に是非とも反映されますようお願いいたします。

☆ 一般国道401号「博士峠」トンネル化による通年通行確保について

☆ 一般国道400号「舟鼻峠」改良促進について